

# 平成 27 年度 糸魚川市外国語活動部 活動報告

部長 林 克巳

- 1 研究主題 意欲的にコミュニケーションに取り組む授業の工夫
- 2 活動の概要 5月21日(木)市教研部長・副部長会 会場；糸魚川小学校  
・平成27年度研修計画立案  
11月11日(水)市教研外国語活動・英語部一斉研修 会場；糸魚川東中  
・公開授業(中学3年) ・協議 ・指導 ・実践交流

## 3 活動の実際

### (1) 公開授業 3年「PROGRAM6 Let's Talk about Things Japanese」

本時は、「留学生のメル友を探そう」という活動場面を設定。生徒がペアをつくり、タスクカードに記載された情報を基に、英語で情報交換「質問や応答」を行いながら、友達とプレゼントを決定していく活動であった。現在分詞や過去分詞を用いた後置修飾を活用しながら、主体的に活動に参加し、場面に応じた思考判断を基に適切な表現ができることをねらって授業が展開された。ペアを交換してのタスク活動を2回実施。その間に「発表とフィードバック」の活動を仕組むことが、新しい表現の活用やよい表現に生かされていた。教師の明るい表情、テンポのよい展開。「間違ってもいいんだよ」という懐の深さが、子どもの英語の授業を楽しむ姿、知っている英語を使って積極的にコミュニケーションをとろうとする姿を発揮させていた。



### (2) 授業者の反省

生徒の感想から「ちょっと難しかった」とあるように、本日は難しい内容であった。タスク活動では状況設定、判断が必要となる。生徒の経験不足もあるが、状況設定の読み取りは大切な活動であり、経験を積んでいくことが必要である。

### (3) 意見・感想等

- ・タスク活動の際に、ペアの相手に配られた資料がそれぞれ違っていた。相手から確実に聞き取らなければならない状況を生んでいた。この設定がたいへんによかった。
- ・ほとんど英語のみを教師が使っていた点、タスクのレベル(内容)が難しかった点に驚きました。難しくても活動に子ども達が一生懸命についていって英語を話す姿は、倉若先生の日頃のプラスのフィードバックのたまものだと感じました。

### (4) 指導 指導者 上越教育事務所学校支援第2課 指導主事 重野 準司 様

\*英語力向上に向けた授業改善という視点でご指導いただいたことを幾つか紹介します。

- ・授業改善のポイントは次の3つである。

単元構想、身につけさせたい力、言語活動の内容、評価方法がリンクしているか  
言語(英語)を使用しているか  
生徒の英語による言語活動を中心に展開する授業

- ・ねらい達成のために「Can Do リストの設定」「パフォーマンスによる評価」を実施する。
- ・「できた」を生む言語活動の3つのプロセス「Presentation」「Practice」「Production」が重要である。

## 4 成果と課題

子ども一人ひとりが自信をもってコミュニケーションをとれるよう、工夫した声かけや支援を続けている授業、学びたい!力をつけたい!楽しみたい!という子ども本来の姿を発揮させる仕掛けがなされた授業は大変に参考になった。参加者からも自分の授業を見直すよい機会となった。これからの授業に生かしたいなどの意見をいただいた。次年度は、指導者による模擬授業を実施するなど取り入れ、児童・生徒の立場に立った内容を取り入れるなどし、「明日から頑張ってみよう。」と元気になる実践的な研修会にする。